

「テレビドラマの世界」展周辺散策 歩いて巡れるロケ地がいっぱい！



「テレビドラマの世界」展を見た後は、歩いて行けるロケ地巡りへ。ドラマのシーンを撮影時のエピソードとともに紹介していますので、散策を楽しみながらドラマの世界に浸ってみてください。

照子の実家、喜美子と八郎の出会いの場。信楽一の窯元、丸熊陶業ロケ地です。実際には3軒の窯元さんが協力してロケ地を構成しています。ここでは、何度もロケが行われ、メインロケ地となりました。アスファルト舗装に砂を撒いたり、トタンに錆び加工する等して、時代感が演出されました。村上ジョージさん演じる慶乃川らが作陶していた作業部屋は、実際に火鉢を含めた陶器制作が行われており、見学も可能です。また、休憩スペースを設置していますので、まちなか散策の中間点としてお立ち寄りください。

喜美子と八郎の仲を急接近させる「火まつり」のロケが行われました。実際の火まつりもここで毎年7月末に実施されています。神社で撮影されたのは前半部分で、後半はここから1km程離れた愛宕山で撮影されました。宮司をはじめとして「火まつり」関係者の完全協力のもと祭を再現。深夜にまで及ぶ、延べ数百人のスタッフとエキストラが参加する映画さながらの大ロケーションが実施されました。

149話では、武志と真奈が、最終話では喜美子が一人で歩いているシーンのロケが行われました。時代考証の関係で物語終盤まで映すことができなかった現代の信楽のまちなかがロケ地となっています。実は、丸熊陶業のすぐ近くだったんですよ。

窯元散策路



物語の序盤、常治がリヤカーを引いて仕事をしている様子等が撮影されました。板塀に挟まれた情緒ある道は下見の際に監督が気になっていたそうです。時代設定にそぐわない電柱や舗装、サッシは美術スタッフ達が時代に合った装いに演出しました。

注意!! 道が狭い!
の区間

ロケ地 新宮神社



板塀の道
ロケ地 壺作商店

「テレビドラマの世界」展会場

スカーレット協議会
公式物産ショップ
「緋色の商店街」



ロケ地 丸熊陶業



ロケ地 宗陶苑



丸熊陶業ののほり窯という設定でロケが実施されました。喜美子が就職の挨拶に行ったシーンが撮影されました。また、クランクインの記者会見もここで実施されました。現在も定期的に稼働している信楽唯一ののほり窯が使われています。



10分

10分

10分

5分

10分

10分

ポケットパーク

Ogama

浄観寺

10分

ロケ地

ロケ地

ロケ地

ロケ地

ロケ地

ロケ地